

# Panasonic JAGUAR RACING

2019年1月29日

パナソニック・ジャガー・レーシング、  
フォーミュラ E 選手権 第 3 戦 サンティアゴ・グランプリに出場  
灼熱のなか荒れたコースで冷静なレースを展開し、貴重なポイントを獲得



- ABB FIA フォーミュラ E 選手権の 2018/2019 シーズン 第 3 戦がチリのサンティアゴで開催
- 決勝レースは、フォーミュラ E 選手権史上最高気温である 37 度のコンディションで実施
- 結果はミッチ・エバンスが 6 位で 8 ポイント獲得、ネルソン・ピケ Jr.が 11 位と入賞にはわずかに及ばず
- ドライバーズ・ランキングでは、ミッチ・エバンスが 6 位、ネルソン・ピケ Jr.が 16 位に位置し、チームは総合 6 位に
- 第 4 戦 メキシコシティ・グランプリは、2 月 16 日開催

2019年1月26日、サンティアゴ、チリ発：パナソニック・ジャガー・レーシングは、ABB FIA フォーミュラ E 選手権の 2018/2019 シーズン 第 3 戦 サンティアゴ・グランプリに出走し、2015/2016 シーズンに開催されたサンティアゴ・グランプリの 35 度を上回る、37 度というフォーミュラ E 選手権史上最高気温を記録する灼熱のなか、ミッチ・エバンスとネルソン・ピケ Jr.の両ドライバーはそれぞれ、6 位、11 位で完走しました。

路面状況が変わり、ミッチ・エバンスは 12 番 (1:09.235)、ネルソン・ピケ Jr.は 20 番 (1:09.705) となり、クオリファイ・セッションでの上位 6 人に入ることができず、スーパーポール・シュートアウト・セッションへも進めませんでした。しかしながら、ルーカス・ディ・グラッシ (アウディスポーツ・アプト・シエフラー) がテクニカル違反の判定を受けてポール・ポジションから降格となり、決勝レースは繰り上がって、ミッチ・エバンスは 11 番グリッド、ネルソン・ピケ Jr.は 19 番グリッドからスタートすることになりました。

入賞圏外からのスタートにも関わらず、決勝レースで両ドライバーは果敢な追い上げを見せました。ミッチ・エバンスは 5 つ順位を上げて 6 位までのぼりつめ、見事 8 ポイントを獲得しました。ネルソン・ピケ Jr.も全力を尽くしましたが、ポイント獲得まではあとわずかの 11 位でレースを終えました。

# Panasonic JAGUAR RACING

## ドライバー、ミッチ・エバンスのコメント:

「総合的に考えて今回のレースには満足していません。勝利を目指し強い意志をもってレースに臨みましたが、1 回目のフリー・プラクティス・セッションから、あまりペースがつかめませんでした。路面状況が変化するなかでのクオリファイ・セッション 12 位という結果は、私が出せるベストでした。レースではなんとか持ち直しましたが、まったく満足はしていません。私たちが目指しているのは表彰台です。メキシコのコースは好きなので、楽しみにしています。」

## ドライバー、ネルソン・ピケ Jr.のコメント:

「タフな週末でした。クオリファイ・セッションで 10 位以内にも残れず、スーパーポール・シュートアウト・セッションに出走できないと、決勝レースがとても難しくなることを身をもって理解したと思います。今回のグランプリではコースのアスファルトが破損して路面状況が悪かったため、追い越すことができず、さらに難しさが増しました。エネルギー効率については最近うまくいっていたので、クオリファイ・セッションに集中して、コースに合わせた速度を見つけることが必要だと思っています。」

## パナソニック・ジャガー・レーシング・チームのディレクターであるジェームズ・パークレーのコメント:

「残念なことに、クオリファイ・セッションの結果からは表彰台争いは望めませんでした。決勝レースは積極的なアプローチで挑む必要があると考えました。ミッチ・エバンスが 6 位、ネルソン・ピケ Jr. が惜しくもポイント獲得にはなりませんでしたが 11 位と、素晴らしい追い上げを見せてくれたと思います。恐らく今回のレースで、最も順位を上げたチームだったと思いますし、素晴らしいマシンであるとポジティブに捉えることができます。コースの路面状況が悪かったため、オーバーテイクすることができず、無理に挑めばコースアウトしてしまう危険な状況でした。これが私たちの躍進を阻みましたが、炎天下にも関わらず、かなりの追い上げを見せたと思います。私たちはクオリファイ・セッションを制さなければなりません。そこが、決勝レースで妥協せざるを得なかった理由のひとつですから。今後は特にクオリファイ・セッションに注力しながら、今のペース配分と合わせて、よい結果につなげたいと思います。」

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2019 年 1 月 26 日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

以上

# Panasonic JAGUAR RACING

## エディターズ・ノート

### パナソニック・ジャガー・レーシングについて

ジャガーは2016年10月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。

ジャガーのフォーミュラ E プログラムは、その基本原則として「Race to Innovate (イノベーションのためのレーシング)」を掲げており、将来のジャガー・ランドローバーの市販車の電動化に向けた研究開発に活用していきます。

マニファクチャラーは、モーター、トランスミッション、インバータ、リア・サスペンションを含むパワートレインを設計することができます。コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは全チーム共通とし、パワートレイン開発に焦点が絞られています。

ABB FIA フォーミュラ E は、2018年に「Generation 2」の新しいフォーミュラ E レースカーを発表しました。各チーム、ドライバー1人につきレースカー1台となり、従来義務付けられていたマシンの乗り換えは不要となりました。

フォーミュラ E は、電気自動車によるレースというコンセプトに加え、モータースポーツの世界において開催地の選定に関してもユニークです。選手権はリヤド、香港、三亜、モナコ、ローマ、パリなどといった世界的大都市を舞台に、一時的に設営されるストリート・サーキットで開催され、最終戦はニューヨークで2戦連続開催されるダブルヘッダー・レースで閉幕します。

- Jaguar ウェブサイト: <http://www.jaguar.co.jp>
- YouTube: <http://www.youtube.com/JaguarCars>
- Facebook: <https://www.facebook.com/JaguarJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/JaguarRacing>
- Instagram: <https://www.instagram.com/JaguarRacing>

### ◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689

(9:00~18:00、土日祝日を除く)